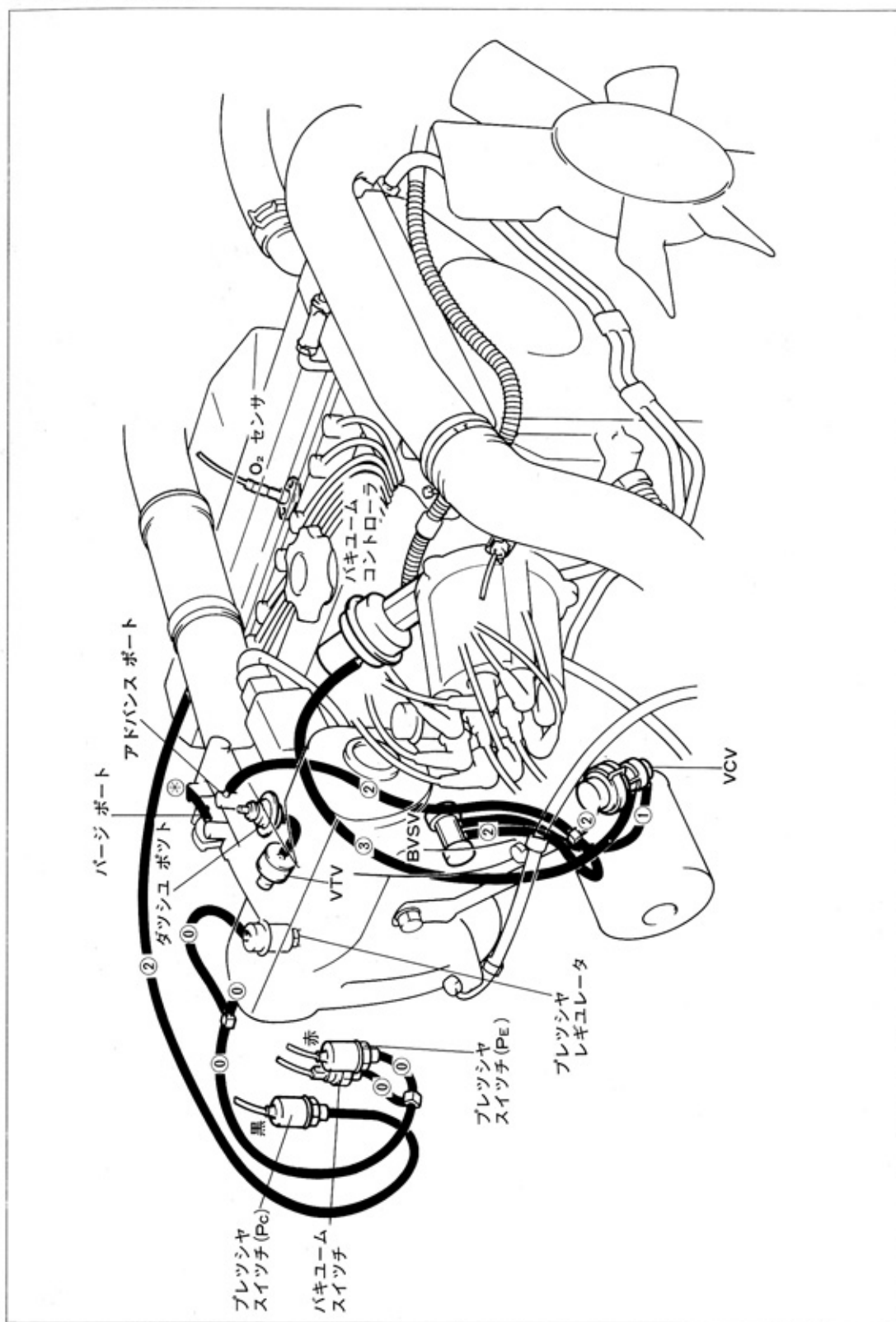


3. 排出ガス浄化装置

システム系統図	3-2
点火時期制御装置点検	3-3
減速時制御装置点検	3-5
空燃比補償装置点検	3-6

システム系統図






A4663

図3-0-1

1

点火時期制御装置点検

(準備品)

<p>工 具</p>	 <p>09258-00030 プラグ セット, ホース</p>	<p>点火時期確認用</p>
<p>計 器</p>	 <p>(株)バンザイ扱い TB-501 マイテイバツク</p>	<p>バキューム コントローラおよびV C V点検用</p>
<p>計 器</p>	 <p>(株)バンザイ扱い TCP-1TB ターボ チャージヤ プレッチャ ゲージ</p>	<p>過給時点火時期システムおよびバキューム コントローラ点検用</p>
<p>計 器</p>	<p>エンジン チューンナップ テスタ(タイミング ライト)</p>	<p>点火時期確認用</p>
<p>計 器</p>	<p>温 度 計</p>	<p>水温測定用</p>

3

システム点検

低温時点火時期点検
(M/T車—冷却水温45℃以下)
(A/T車—冷却水温55℃以下)

- 1 デイストリビュータの③番ホースをはずし、エンジン回転をアイドル回転から徐々に上げていつたときそのホースに負圧が作用していないことを確認する。

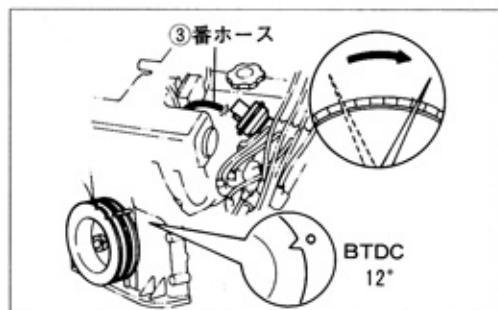


図3-1-1 低温時点火時期点検

A4523

温間時点火時期点検
(M/T車—冷却水温64℃以上)
(A/T車—冷却水温74℃以上)

- 1 デイストリビュータの③番ホースをはずし、アイドル回転時そのホースに負圧が作用していないことを確認する。
- 2 ③番ホースを接続し、エンジン回転を徐々に上げていつたとき通常進角することを確認する。

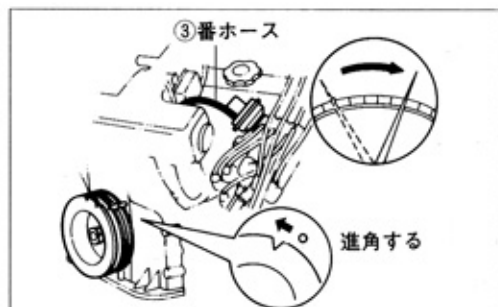


図3-1-2 温間時点火時期点検

A4524



過給時点火時期点検

- 1 スロットル ボデーのアドバンスポートより②番ホースをはずし、ターボ プレッチャ ゲージを接続する。

注意

- アドバンス ポートはふさいでおく。
- 2 アイドル回転時、0.52kg/cm²の正圧をかけたとき点火時期が遅角することを確認する。

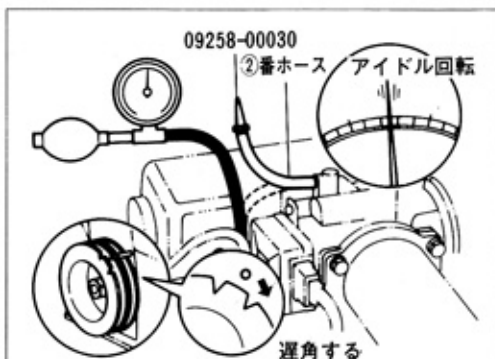


図3-1-3 過給時点火時期点検 A4525

バキューム コントローラ点検

要 点

1 作動および気密点検

- (1)ダイヤフラムにマイテイバックを接続し260mm Hgの負圧をかけたとき、ブレーカ プレートが吸引され負圧が下がらないことを確認する。
- (2)ダイヤフラムにターボ プレッチャ ゲージを接続し0.52kg/cm²の正圧をかけたとき、ブレーカ プレートが回転し圧力が下がらないことを確認する。
- (3)負圧または正圧を0にしたとき、ブレーカ プレートがすみやかにもどることを確認する。

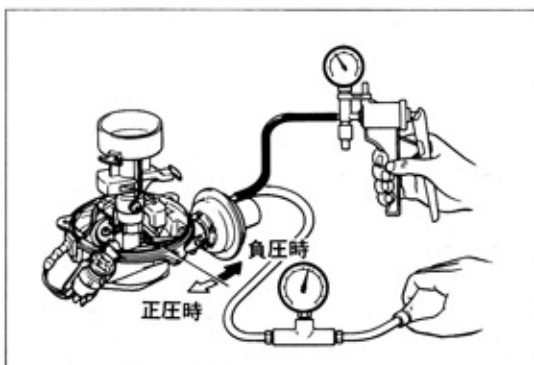


図3-1-4 バキューム コントローラ点検 A4526

VCV点検

要 点

1 作動点検

- (1)⑤ポート⇔②ポート間に通気があることを確認する。
- (2)⑤ポートにマイテイバックを接続し、①ポートと②ポートを指でおさえ100mmHgの負圧をかける。
- (3)①ポートと②ポートを開放したとき、マイテイバックの指針が下がらず、⑤ポート⇔②ポート間に通気があることを確認する。

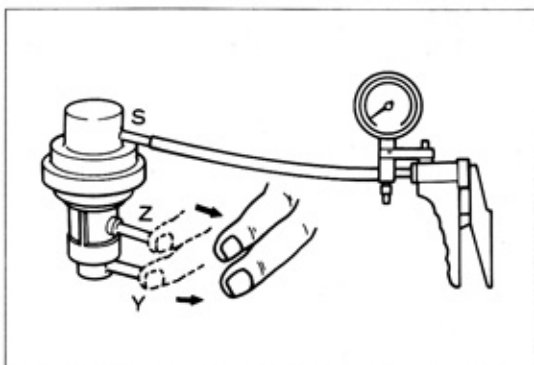


図3-1-5 VCV点検 A4527

BVSV点検

要 点

1 通気点検

- (1)水中に約1分間放置後、各ポート間の通気を点検する。

基準

○—○ 通気あり

温度 \ ポート	K	J	大気口
M/T車-45℃以下 A/T車-55℃以下	○		○
M/T車-64℃以上 A/T車-74℃以上	○	○	

注意 ポート内に水を入れない

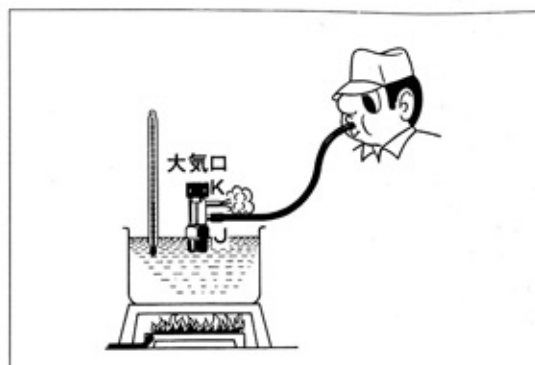


図3-1-6 BVSV点検

M4438

2

減速時制御装置点検

3

〔準備品〕

計 器	 09082-00011 トヨタ エレクトリカル テスタ	スロットル ポジション センサ導通点検用
	サウンド スコープ	インジェクタ作動音確認用
	エンジン チューナツブ テスタ (回転計)	エンジン回転数確認用

システム点検

要 点

1 フューエル カット作動点検

- (1)ダツシユ ポット用VTVを取りはずす。
(2)エンジン暖機後、インジェクタにサウンドスコープを当て、エンジン回転を3500rpm以上にし、スロットル レバーを放したときインジェクタの作動音が一瞬止まり、その後、再度作動音がすることを確認する。

基準値 (rpm, 冷却水温80℃以上)

	エアコンOFF	エアコン ON
フューエル カット回転数	1800±100	(2100)
復 帰 回 転 数	1200±50	1500±100

()は参考値

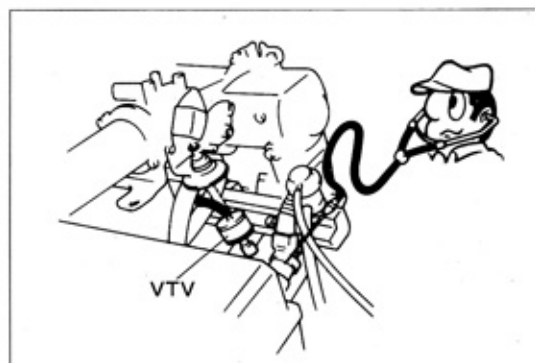


図3-2-1 インジェクタ作動音点検

A4528

スロットル ポジション センサ点検

要 点

1 導通点検

- (1)スロットル ポジション センサのコネクタを取りはずす。
- (2)スロットル ストップ スクリュとレバーの間にシツクネス ゲージをはさみIDL↔TL端子間の導通を点検する。

基 準 0.40mm……………導通あり
0.60mm……………導通なし

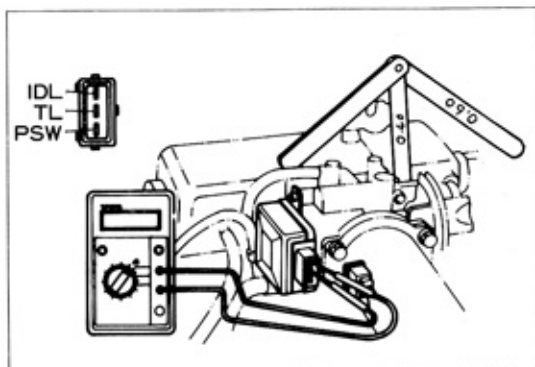
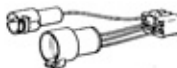
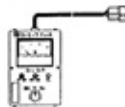


図3-2-2 スロットル ポジション センサ点検 A4529
点検

3

空 燃 比 補 償 装 置 点 検

[準備品]

工 具	 09842-20010 サブ ハーネス, O ₂ センサ チエツカ	O ₂ センサ チエツカ接続用
計 器	 09990-00111 チエツカ, O ₂ センサ	システム点検用
	エンジン チューナツブ テスタ (回転計)	エンジン回転確認用

システム点検

要 点

- 1 サービス用コネクタにサブ ハーネスを接続し, O₂ センサ チエツカを接続する。
- 2 エンジン暖機後, エンジン回転2500rpmで約90秒間レーシングしてO₂ センサを暖機し, O_x ランプが点滅していることを確認する。
- 3 エンジンを2500rpmで保持した状態でチエツカのロータリ スイッチを V_F 位置にし指針が4↔10V間で振れることを確認する。また, O_x ランプの点滅回数を測定する。

点滅回数基準値……………10秒間に8回以上

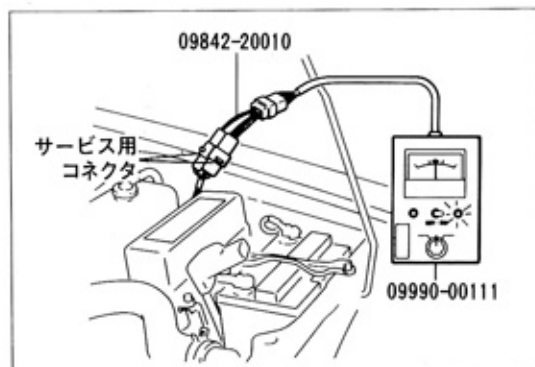


図3-3-1 空燃比補償装置システム点検

A4428